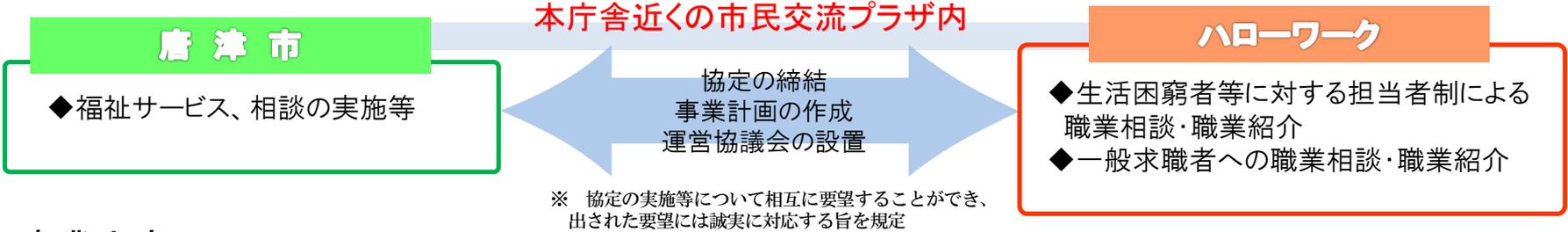


# 唐津市(佐賀県)の一体的実施事業 (愛称: CoCoカラ)

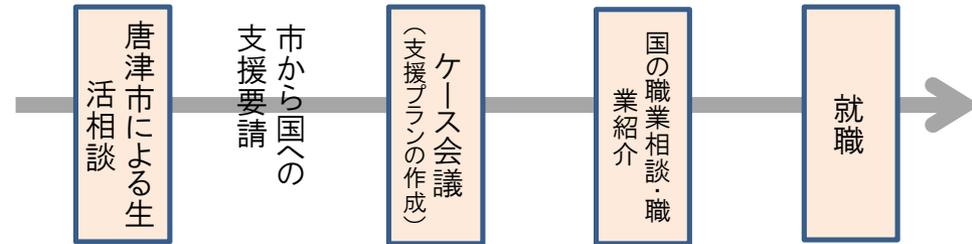
- 生活保護受給者・児童扶養手当受給者等の担当課の窓口利用者及び生活自立支援センター利用者等を市役所近くの市民交流プラザ内のハローワーク窓口へ誘導し、ワンストップでの就職支援を実施。
- また、来所される一般求職者に対し職業相談・職業紹介を実施。



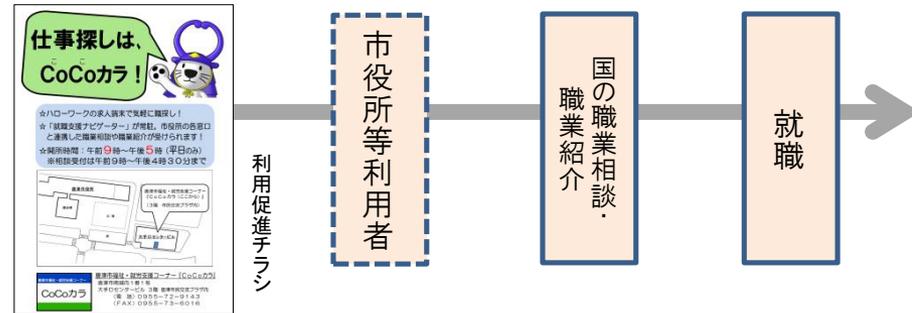
## 事業内容

- ◆生活保護受給者・母子(父子)家庭の母(父)、生活自立支援センター利用者等の福祉サービス対象者及び一般求職者を対象。
- ◆市の就労相談員や母子・父子自立支援員による生活保護受給者、児童扶養手当等に対する相談・支援。
- ◆ハローワークによる担当者制・予約制による職業相談・職業紹介。
- ◆市の就労相談員等とハローワークの就職支援ナビゲーターにより組織された唐津市福祉・就労支援チームによる就労支援。

(生活保護受給者等の福祉サービス対象者への支援)



(一般求職者への支援)



## 成果を上げるためにやっていること

- ◆定期的な打ち合わせの実施(事業の進捗状況、実施上の問題点、目標達成のための課題等)。
- ◆ハローワークが行う職業相談の中で必要に応じて、市がハローワークに**支援者の生活状況等について情報提供や支援方法についてアドバイス**。
- ◆各市民センターでの**巡回相談**の実施
- ◆**利用促進チラシ**の作成と掲示



## (1) 実施体制

### 市

- ・生活保護課 就労相談支援員 2名
- ・生活自立支援センター 就労支援員 1名
- ・子育て支援課 母子・父子自立支援員 2名

### 国

- ・就職支援ナビゲーター2名
- ・求人情報提供端末 2台
- ・職業紹介端末 2台

## (2) 事業目標と取組状況

	令和2年度事業目標	取組状況(令和3年3月末時点)
生活困窮者に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇支援対象者数:92人</li> <li>◇就労・就職目標:62人</li> <li>◇公的職業訓練受講者数:6人</li> <li>◇訓練受講者の就労・就職者数:4人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇支援対象者数:95人</li> <li>◇就労・就職者数:78人(紹介就職:51人)</li> <li>◇公的職業訓練受講者数:9人</li> <li>◇訓練受講者の就労・就職者数:5人</li> </ul>
一般求職者に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇新規求職者数:250人</li> <li>◇就職目標:125人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇新規求職者数:279人</li> <li>◇就職者数:130人(紹介就職:86人)</li> </ul>
市から福祉・就労支援コーナーへの支援要請	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇支援要請者数:40人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇支援要請者数:32人</li> </ul>
就労支援コーナーの新規求職者のうち、生活保護受給者、母子・父子家庭の母・父及び生活自立支援センター利用者(生活困窮者として誘導された者に限る)の割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇割合:50.0%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇左記対象者の割合:47.3%</li> </ul>

# 一体的実施によるきめ細かな支援「C○C○カラ」



## 唐津市長 峰 達 郎

「唐津市福祉・就労支援コーナー」（愛称：C○C○カラ）が、大手口センタービル3階唐津市民交流プラザ内に平成27年10月1日にオープンしました。

「C○C○カラ」では、ハローワーク唐津の就職支援ナビゲーターと、唐津市生活保護課の生活保護受給者就労相談員、子育て支援課の母子・父子自立支援員、生活自立支援センターの就労相談員等が、一体となって職業相談及び職業紹介を行う施設です。

唐津市役所とハローワーク唐津との物理的な距離という課題を解決し、両者が一体となって、情報を共有化し、生活保護受給者や母子・父子家庭等の支援対象者に、よりきめ細かな就労支援を実現できる場所となっております。

この「C○C○カラ（ここから）」という愛称は、この支援コーナーが、多くの利用者が新たな生活のスタートをここから始めることができ、市民の方々に親しまれる場所になることを願って決定いたしました。

今後もハローワーク唐津と連携し、市役所を訪れる支援対象者のひとりでも多くの方々が早期就労につながるよう、市としても全力をあげて支援して参ります。

# 一体的実施事業による就職成功例

女性：Aさんの場合（30代）

## ○ 本人の状況・背景

- ・知人がいるとのことで県外より唐津市に転居。土地勘なし。・准看護師の資格はあるが、看護師の経験は介護施設での看護業務のみ。
- ・サービス業での接客や保険外交員等の経験あり。・今後は准看護師の資格を活かした看護業務を希望。

## ① 抱える課題

- ・子供が小さく日祝休みが必要、また夜勤は難しい。・子供を月に2回、病院の通院に連れて行く必要があり、事業所の理解が必要。・唐津市に転居してきたばかりであり、唐津市の病院や介護施設についての知識がない。
- ・就職を急ぐあまり条件ばかりを見て応募され、継続的な就労につながっていない。

## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・当初から早期就職希望で積極的に求職活動をされていた。求職活動を初めて2ヶ月の間に、数回の職場見学や企業説明会への参加をされ、最初の就職が決まった。しかし、応募し採用となったのは病棟での看護業務であり経験もなかったことから、職場になじみず短期間で離職となった。短期間で離職となったことから今後の求職活動について不安に思われることもあったが、自立サポート事業（※1）の支援対象者となることで、担当者制・予約制を活用し落ち着いた環境での職業相談、継続的な支援を受けられるようになった。また、相談の過程で精神的なケアをしつつ、求人情報の提供を行った。
- ・支援対象者となられた当初、唐津に来たばかりで場所がわかられないため、自宅の近くにある事業所ばかり検討されていた。相談を重ねる中で本人の希望条件の聞き取りを丁寧に行ったが、自宅近くで本人の希望に合う条件での就職は困難と判断。通勤可能な時間を確認の上、もう少し範囲を広げて探してみてもと提案。通勤可能範囲を広げることで、本人の希望の条件に近い介護施設での看護業務の仕事へ正社員での採用となる。
- ・事業所の配慮により、対応に悩んだり困ったときはほかの担当者へ相談し解決できている。勤務時間・休日面からも無理なく勤務ができており子供とも落ち着いた生活が送れている。
- ・就職後は手紙などでフォローアップを継続し、職場定着のため事業所訪問を実施。勤務開始当初は職場の雰囲気や先輩や同僚とのコミュニケーションに苦労することもあったが、上司のフォローもあり順調に就労できているとのこと。上司の方から、本人の人柄や雰囲気が職場にいい影響を与えているので今後も継続した就労をしてほしいとの発言あり。本人からも、学校行事や子供の通院にも理解があるので今後も頑張っていきたいと笑顔で報告あり。
- ・本人の気持ちに寄り添うことにより信頼関係を築き、傾聴することで問題点の把握ができ早期再就職へつながった。

③ **結果** 准看護師、正社員で採用、現在も就労継続中。※就職までのチーム支援期間:2か月

(※1) 自立サポート事業…「生活保護受給者等就労自立促進事業」の佐賀局独自の愛称